

# 食物栄養学科の方針

## ① 養成する人材像

食物栄養学科は、地域社会に貢献できる食と栄養のスペシャリストとしての栄養士の養成を目指す。食を科学的に創造できる力、人々の健康増進に資する力、栄養と健康の情報や食文化継承への発信力など、総合的な学修経験を通して、食生活や食習慣の改善に寄与できる実践的能力を備えた人材を養成する。

## ② 教育課程の編成方針

本学科では、次のような方針で教育課程（カリキュラム）を編成している。

- 1) 大学教育の基礎となるスキルを身につける初年次教育
- 2) 正しい知識を持ち、確かな情報が選べる知識・技術を身につける教育
- 3) 調理を科学的視点で捉え、確かな調理技術を身につける教育
- 4) 栄養バランスのとれた食事を科学的に創造できる知識と技能を身につける教育
- 5) 給食管理が実践できる専門的知識・技能を身につける教育
- 6) 食と健康を常に意識した栄養士としての十分な専門的な知識・技能を身につける専門教育
- 7) 地域の食と栄養の問題を把握し、それを改善する手段を考える力を養う教育

### 専門教育での学修の方針

食物栄養学科では、社会的要請に応える食と栄養のスペシャリストとしての栄養士の養成を目指している。そのため、栄養士養成施設として、社会生活と健康、人体の構造と健康、食品と衛生、栄養と健康、栄養の指導、給食の運営の各分野の専門基礎科目と専門実践科目に関する講義、実験と実習を含んだ専門家養成のためのカリキュラム（教育課程）を編成している。また、食育の専門家となる栄養教諭二種免許状の取得も目指せるよう、教職課程を設けている。

## ③ 学位授与の方針

本学科の学位授与の方針は次の通りである。

所定の単位を取得した次の学生に、短期大学士（栄養学）の学位を授与する。

- 1) 栄養バランスの取れた食事を科学的に創造できる技術を身につけている。
- 2) 総合的な学修経験を通して、食生活や食習慣の改善に寄与する実践的能力を身につけ、人々の健康増進に資することができる。
- 3) 高いコミュニケーション能力と協働の姿勢を修得し、栄養と健康の情報を発信し続けることができる。
- 4) 地域における食の変遷、食事マナーを学び、地域の食文化の継承に貢献することができる。